

# 親子会社間の人的関係と企業価値

一橋大学大学院生 涂 琛

## 要旨

親子上場とは親会社とその傘下の子会社がともに上場している状態を指す。親会社と子会社の間では、資本関係以外にも、モノ、カネ、ヒトの多様な関係が存在しているのが日本親子上場の特徴である。本稿では、子会社の経営者と親会社の関係について詳細なデータを収集し、親子会社間の人的関係が企業価値に与える影響について分析する。具体的には、2005–2019年の上場子会社を対象に、経営者の出身を親会社からの独立性が高い順に内部昇進、親会社出向・転籍と親会社従業員・役員兼任に分け、子会社経営者・親会社間の人的関係の強さが企業価値に与える影響について検証する。分析の結果、子会社経営者が内部昇進である場合には、そうでない場合に比べて企業価値が高いことが確認された。また親会社とのシナジー効果を通じた価値向上が期待される資本参加型の上場子会社は事業分離型の上場子会社に比べて、親子間の人的関係が子会社の企業価値に与える影響がより強いことが確認された。以上の結果は、子会社経営者の親会社からの独立性が子会社の価値向上のためには重要であることを示唆している。

キーワード: 人的関係、企業価値、上場経緯